

『東亜』2021年2月号目次 「特集：コロナ禍で進む中国のデジタル化」

■特集 コロナ禍で進む中国のデジタル化

- * 新型コロナを「克服」した湖北省武漢市—活躍するデジタル産業— 佐伯岳彦
- * 中国デジタル化はどこに向かうのか：変わらないもの／変わるもの 岡野寿彦
- * コロナ禍で進むデジタル中国 竹内誠一郎

■ASIA STREAM (2020年12月－2021年1月)

- * 中国の動向 全軍に戦争準備の檄を飛ばす習近平とその狙い 濱本良一
- * 台湾の動向 米国連大使の訪台、直前で中止に 門間理良
- * 朝鮮半島の動向 朝鮮労働党大会 金正恩氏が総書記就任 塚本壮一

■COMPASS

- * 国際規格をめぐる中国の戦略 —「中国標準2035」を試論する 江藤名保子
- * 中央経済工作会议からみた2021年の中国の経済運営方針 藤井大輔
- * アメリカによる同盟国の防衛をめぐる論議 森聡
- * 2021年の韓国経済は依然として明るくない 高安雄一

■Book Review on Asia

- * 『黄禍論—百年の系譜（講談社選書メチエ）—』（廣部泉著） 嵯峨隆

■Briefing Room

- * 不発に終わった？スプートニク・ショック 駒木明義

■CHINA SCOPE

- * ミシュランガイドよりブラックパール？中国人のレストラン選び 勝又あや子

■滄海中国

- * 中国と関わりつづけてきた一書店員・編集者の記録と思い 朝浩之

■企画連載 ポスト・コロナの米中関係の行方を探る（第5回）

- * 南シナ海をめぐる米中対立の行方 飯田将史

■巻頭言

- * コロナ後に直面する中所得「大国」の罟 大泉啓一郎

■New Publications on Asia

■表紙写真／新華社/アフロ